

## 田んぼの学校（開校式）

柏崎周辺農業水利事業所 市野新田支所

平成 26 年 5 月 24 日（土）に、市野新田ダムの地元である柏崎市女谷地区で開催された「田んぼの学校」を応援しました。前日までの曇天、寒空とはうって変わって、さわやかな初夏の陽気となり、絶好の田んぼの学校日和となりました。

田んぼの学校の開校式の後、参加した 11 家族と応援団はみんなで畑へ移動し、サツマイモの苗を植えました。



イモ植えの先生（宮嶋区長さん）



マルチの下が気になるご様子



上手に植えられてご満悦



里山を歩くのは気持ちがいいです

イモ植えの後は、水田に移動して田植えを行います。田植えは、六角形の枠で田面に印をつけたところに幼苗を手で植え付けていきます。先生の説明では、田植えの方法に加え、「畦畔の周囲の除草をすることでお米がおいしくなる。」とありました。田んぼの学校では、極力農薬を使わないようにするため、除草が重要な作業になるようです。説明を聞いて、いよいよ田んぼに入ります。子どもはもちろん、大人もヌルっとした泥の感触を足指の間で楽しみながら、植えていきました。



格子状の目印に植えていきます



事業所も奮闘（腰イタ！）



疲れたときはひとやすみ



絶品のおにぎりと豚汁と漬け物

田植えの後は、女谷地区で昨年収穫したお米で作ったおにぎりと豚汁で昼食です。女谷の米はおいしいと評判ですが、体を動かした後に食べるおにぎりは、これまた格別の味です。豚汁も地元の食材で作られ、さらに漬け物の盛り合わせはおにぎりに絶妙にマッチしていました。

次回の田んぼの学校は、6月21日に水田の除草と生き物調査が予定されています。女谷地区では永かった冬も終わり、ようやく新緑の季節を迎えました。これからは暑くなり、除草が大変な作業となりますが、おいしいお米作りには欠かせません。秋の実りを楽しみに、今後も参加者とともに今日植えたサツマイモと稲の成長を見守りたいと考えています。